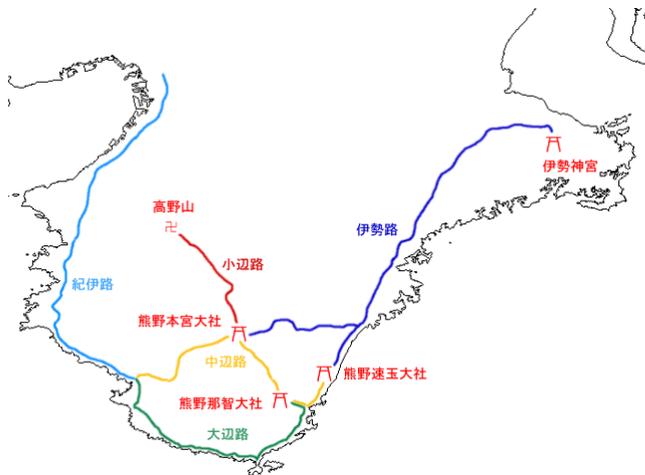


熊野古道・紀伊路の日帰り歩き そのI

「熊野古道」は、大阪の天満橋から和歌山の田辺までを「紀伊路」と呼ぶ（大阪から和歌山までは「熊野街道」、和歌山から田辺までを「紀伊路」と呼ぶこともある）。大阪府の部分は、市街地を歩くのでお勧めできない。和歌山に入ると、海岸線に沿ったミカン山を巡るコースで海が見え景色が良く楽しい。各ルートは、日帰りで往復できる。このうち、人気のある2つのコースを紹介する。「熊野古道」は、田辺からは紀伊半島の中央部に入り、「熊野本宮」に着き、さらに「那智大社」、新宮の「速玉大社」まで達する。田辺から先の部分は「中辺路」と呼ばれ、「熊野古道」の中で最も魅力のある古道であるが、日帰りでは無理で民宿などに泊まる。



「紀伊路」の和歌山から田辺までのルートは、次の5つのコースに分けられる。合計で、約100kmとなる。標識は整備されているが、集落に入ると迷うケースが多々あり、時間は余分にかかる。全体に危険な箇所は無く一人歩きでも安全である。

- ① 矢田岬、汐見岬、海南： 4時間55分 18Km
スタート JR和歌山線 布施屋駅 ゴール JR紀勢本線 海南駅
- ② 藤白坂、拝の岬、湯浅： 5時間25分 18.5Km
スタート 海南駅 ゴール 湯浅駅
- ③ 湯浅、鹿ヶ瀬岬、御坊： 6時間5分 22.7Km
スタート 湯浅駅 ゴール 御坊駅
- ④ 御坊、印南、切目： 5時間30分 21.3Km
スタート 御坊駅 ゴール 切目駅
- ⑤ 切目、南部、田辺： 6時間40分 24.4Km
スタート 切目駅 ゴール 田辺駅

人気のある二つのコース（②と③）を紹介する。

1. 藤白坂、拝の岬、湯浅： 5時間25分 18.5Km

このコースは、三つの峠を越えるコースでかなりきつい。このため、ここでは手前の紀伊宮原駅へドロップするコースを紹介する。

海南駅から歩きだし、線路のガード下をくぐる（写真左）。直ぐに、熊野古道に合流し（中央）、熊野古道と書いた提灯が出てくる（右）。



初めに少し戻って祓戸王子跡に行く、山の中を抜け祓戸王子跡に着く（左、中央）。そこから海南の町が見える。元の道に戻り、藤白王子跡の藤代神社（右）に向う。



しばらく歩くと町石地蔵がある（左）。そこから山登りが始まり、藤白坂を上る（中央）。途中で海南の港が見える（右）。



藤白坂の途中で、筆捨て松・硯石の遺構（左、中央）がある。やがて、頂上の藤代塔下

王子跡（地蔵峰寺）（標高 250m）（右）に着く。



塔下王子跡の直ぐ上の展望台が、和歌山百景の「御所の芝」で和歌の浦が見渡せる（左）。ここからミカン畑の中を県道まで一気に下り、所坂王子跡（橘本神社）（中央、右）（海拔 50m）に向かう。



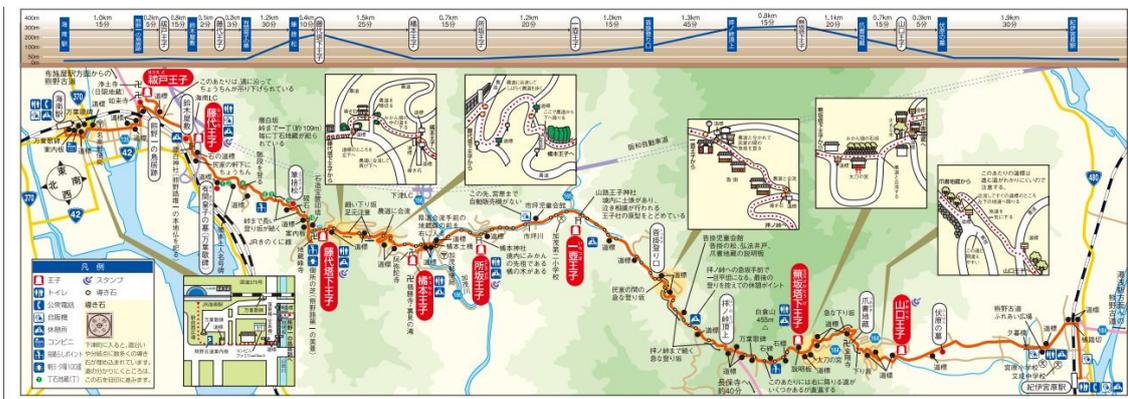
川沿いの道に沿って、次々に〇〇王子跡がある。山口神社（一坪王子跡）を過ぎると、再びミカン山の登りで、舗装された軽トラ道の急坂を「拝の峠」（左、中央、右（山歩き部会有志会））（標高 300m）に向かう。この急坂は、かなりきつい。



峠から尾根道を下り蕪坂塔下王子跡を通り、弘法大師の爪書き地蔵（左）へ。熊野古道ふれあい広場（中央）で小休止して、紀伊宮原駅（海拔 40m）に着く。



コース全体図



最初に記したコースでは、さらに進み、糸我峠（標高 160m）を登り、湯浅駅までであるが健脚向きコースである。紀伊宮原駅にドロップするコースが、一般向きで、山歩き部会・有志会では、このコースで行った。本コースは、熊野古道を紹介するのに比較的距離であり内容も豊富のため、絵画仲間の会でもスケッチに行った（写真、下）。その時は、最初のピークを超えて県道に下った「所坂王子跡（橋本神社）」から、加茂郷駅にドロップした。駅までは、結構遠いが、アップダウンが無い平坦な舗装道路である。



2. 湯浅、鹿ヶ瀬峠、御坊： 6時間5分 22.7Km
 次回に続く。